

総務省「令和3年度課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」に採択されました

総務省が公募する標記開発実証に、前橋5G社会実装プロジェクト（会長：山本市長）の提案事業が採択されました。今回の実証事業により、管制官：バス＝1：2以上の運行を行い、自動運転バスの複数台運用と遠隔監視・操作・操縦を実現し、令和4年度の遠隔型自動運転（レベル3）の実装に備えるものです。なお、自動運転バスに係る提案事業は、昨年度に続いて2度目の採択です。

- 1 提案概要 ローカル5Gを活用した遠隔型自動運転バス実証事業
- 2 実証内容
 - (1) 場所 ・群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター（CRANTS）試験路
・上毛電鉄中央前橋駅ロータリー内
 - (2) 内容 ①CRANTS試験路内に、実際の導入環境（中央前橋駅周辺）を想定した模擬環境を形成し、ローカル5Gと自動運転車両の電波伝搬モデルの精緻化を図る
②公道（中央前橋駅～JR前橋駅の区間）にてローカル5Gを活用した検証を行う
③ローカル5G環境での車両、路側、遠隔管制室間の通信環境の性能評価を行う
- 3 実証期間 契約締結後（令和3年9月末頃予定）～令和4年3月31日
- 4 実施主体 前橋5G社会実装プロジェクト（地域協議会）
（前橋市、（一社）ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構、群馬大学、日本モビリティ株式会社、日本電気株式会社、日本中央バス株式会社 他）

本件に関するお問い合わせ先

－地域協議会に関すること－

未来政策課 ICT戦略推進係

電話 直通 / 027-898-6513

－実証事業に関すること－

交通政策課 地域交通推進室

電話 直通 / 027-898-6238